

# 週 報

1995年5月7日 復活節第4主日

巻16

6号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

## 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

『後戻り』見せて」と励ましている。既成事実を作ってしまった、後戻りはできないと、反対の声を無視する行政のやり方が横行する中で、中止できれば「無形の価値は大きい」と論じている。

石川氏は石橋湛山の言葉を引き合いに出している。湛山は1921年に新聞の社説で「朝鮮や、台湾、支那、満州、またはシベリヤ、樺太など」「何もかも棄てて掛かる」べき、そうすれば「英国にせよ、米国にせよ、非常の苦境に陥るだろう。……日本にのみかくの如き自由主義を採られては、世界におけるその道徳的地位を保つを得ぬに至るからである。その時には…世界の小弱国は一斉に我が国に向かって信頼の頭を下ぐるであろう。」と論じた。驚くべき主張である。歴史は、出兵の既成事実は後戻りできない、英霊の血があがなったものは棄てられないと行き着く所まで行ってしまった。

世界博覧会の後戻りは、お金を損することはあっても血を流すことはないだろう。PKOは血に関わる。PKOの後戻りをも期待したい。

### 一 集 会 状 況 一

	男	女	計
主 日 礼 拜4/30	28	92	
教会学校 子供4/30	10	27	37
大人4/30	10	18	28
成人科4/30	0	6	6
青年会例会4/30	5	12	17

### 一 牧 師 室 か ら 一

青島幸男新東京都知事は、世界都市博覧会開催問題で、少なからず揺れ動いていたが、最終的に選挙公約を守ると中止を決断したらしい。行政の方で動き始めたものを中止することは大変で、これからももめるだろう。

この件に関し、朝日新聞の編集委員の石川真澄氏が「青島さん、